

4. 親子のコミュニケーション②<子どもとのふれあい>

③ よその子どもにインタビューしよう

《ねらい》

○よその子どもと話をすることで、子どもとの接し方を振り返り、自分の子どもと向き合うために大切なことを考える。

《準備物》

- ファシリテータ：ワークシート、アイスブレイク・ゲーム用の道具
- 参加者：筆記用具

	時間	主な活動	発言	留意点
導入 (10)		1. 学習のねらい		
		<p>皆さんは、普段我が子の話をじっくり聞いていますか？今日は、我が子ではなく、よそのお子さんと話をしながら、子どもと向きあう自分を発見していきましょう。その前に、ちょっとリラックスするために、簡単なゲームをしましょう。</p>		
		2. アイスブレイク ・後出しジャンケン	アイスブレイク編P. 7 参照	
		3. ルールとマナーの確認	P. 6 参照	
展開 (30)	10	4. ワークシートに記入する。 ・インタビュー項目 (ワーク1)	4. ワーク1 に子どもに聞きたいことを書き出してみましよう。どんなことを聞けば、子どもたちは話に乗ってくるでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・項目の例をあげる。 ・子どもたちの心をほぐす話やゲームをする。
	20	5. インタビューをする。	5. これから、ゲームで新しい親子ペアを決めます。決まったら、早速準備したインタビュー項目を使ってインタビューを始めましょう。簡単にメモをしておきましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・アイスブレイク（動物あて、音探しなど）を参考にする。 ・本当の親子になっていないことを確認する。
まとめ (10)	5	6. ふりかえり	6. よそのお子さんと話をしてどんな気付きや発見がありましたか。今日を振り返って感じたこと、気づいたことをワークシートに記入しましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちにも感想を聞く。
	5	7. まとめ	<p>いかがでしたか。子どもに対してしっかりと向き合える自分が発見できましたか。帰られてから、お子さんの感想をゆっくりと聞いてあげてください。また新たな気付きがあるかもしれません。</p>	

よその子どもにインタビューしよう

お子さんの話したいことをしっかり聞いてあげていますか。聞きたいことだけ聞いて、お子さんが話したりないことはありませんか。今日は、よそのお子さんと話をしながら、子どもの話をしっかり聴くポイントを考えていきましょう。



ワーク1 子どもに聞いてみたいことを書き出してみよう。

質 問	× 毛
①	
②	
③	
④	
⑤	



今日を振り返って